

桐 生 处 理 区

IV 桐生処理区維持管理状況

桐生処理区は、織物の産地としてその名を海外にも知られた桐生市と、旧足尾銅山から銅を運んだあかがね街道の宿場町として栄えたみどり市に位置しています。

桐生水質浄化センターは、当初は昭和60年4月に桐生市公共下水道の広沢水処理センターとして供用を開始しました。その後、平成7年度に桐生市及びみどり市を処理区域とする流域下水道へと移管になり、現在の名称に変更されました。

平成30年度の事業

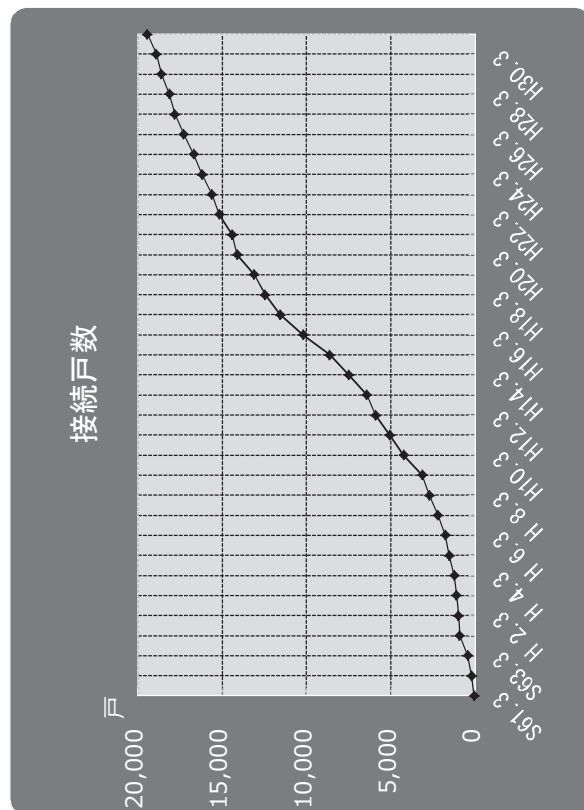
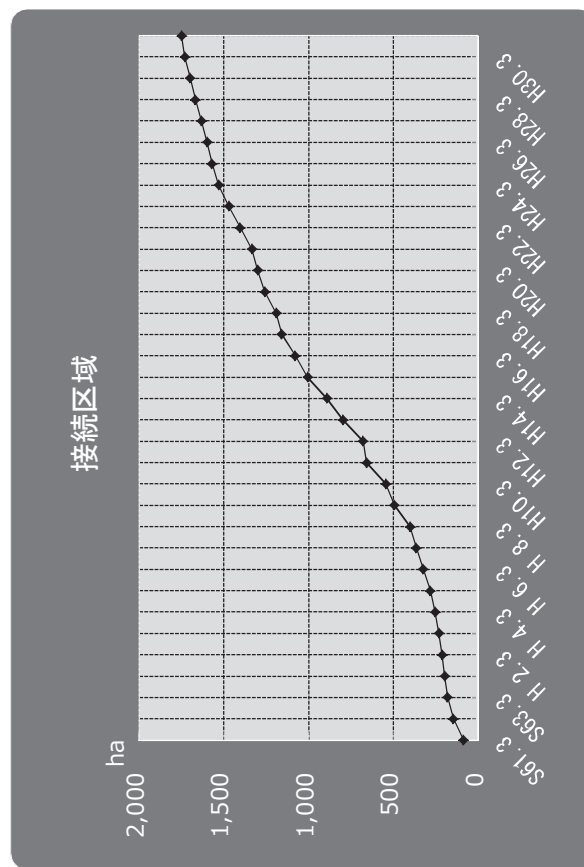
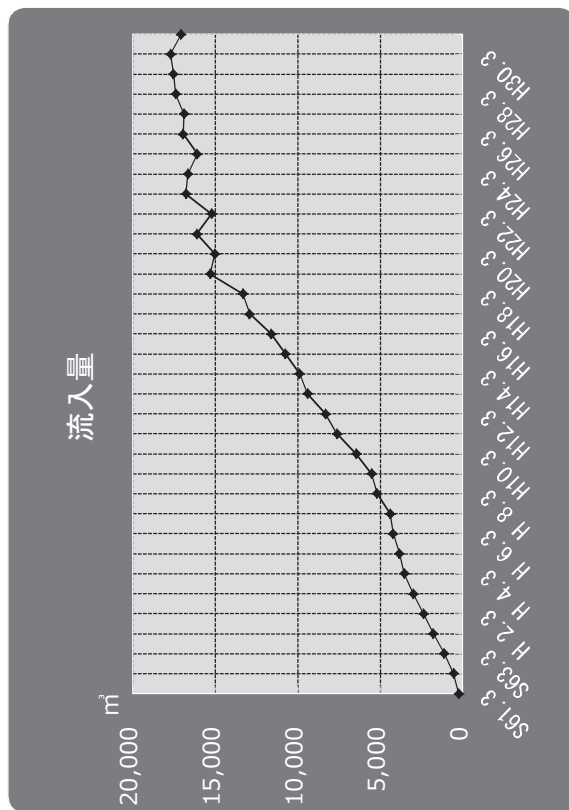
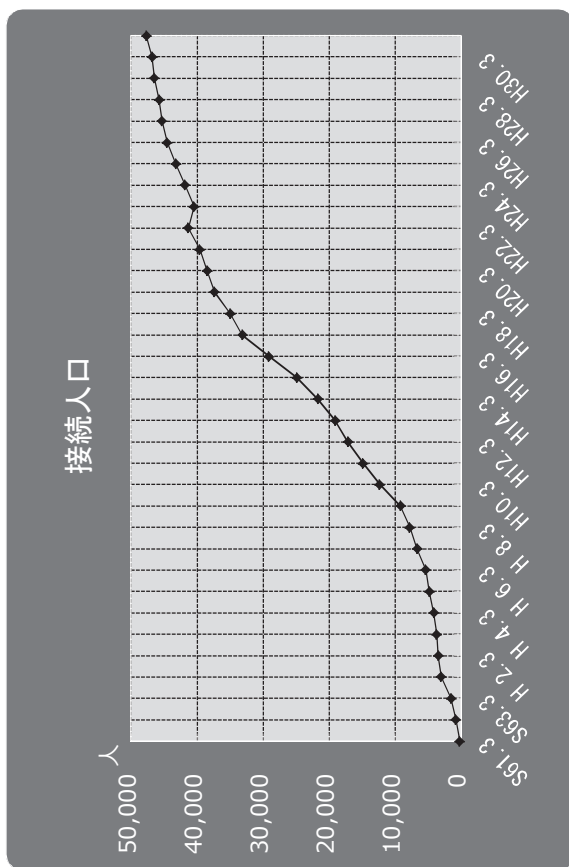
平成31年3月末現在、処理区域面積は1,749ha、接続人口は47,672人となっており、日平均汚水流入量は、17,065m³となっています。

以下に過去15年間の推移の表と処理開始からのグラフを示します。

過去15年間の処理区域等の推移

	処理区域 [ha]	接続人口 [人]	接続戸数 [戸]	日平均流入量 [m ³]
H17.3	1,158	33,132	11,557	12,919
H18.3	1,189	35,001	12,451	13,327
H19.3	1,258	37,359	13,097	15,308
H20.3	1,299	38,480	14,108	15,030
H21.3	1,334	39,591	14,416	16,119
H22.3	1,404	41,321	15,178	15,233
H23.3	1,470	40,474	15,606	16,776
H24.3	1,529	41,839	16,195	16,658
H25.3	1,569	43,215	16,687	16,103
H26.3	1,598	44,534	17,267	16,951
H27.3	1,632	45,300	17,797	16,899
H28.3	1,667	45,772	18,124	17,398
H29.3	1,698	46,502	18,605	17,539
H30.3	1,730	46,844	18,904	17,706
H31.3	1,749	47,672	19,433	17,065

処理開始(昭和60年4月)からの処理区域等の推移



1 計画概要

(1) 計画概要

項目		区分		
		全 体 計 画	事 業 計 画	平成30年度末現在
1	事業年度	平成4年～平成38年	平成4年～平成32年	-
2	関連市町村名	桐生市 みどり市		
3	処理面積	3,158 ha	2,454 ha	1,749 ha
4	処理人口	87,650 人	64,808 人	60,353 人
5	施設の能力	58,400 m ³ /日	49,200 m ³ /日	36,900 m ³ /日
6	排除方式	分 流 式		
7	処理方法	標準活性汚泥法+急速ろ過	標準活性汚泥法	
8	予定処理水質	BOD 10 mg/L	BOD 12 mg/L	
9	放流河川名	一級河川 渡良瀬川		
10	環境基準	渡良瀬川(1) A-Ⅰ		
11	汚泥処理方式	濃縮-脱水-炭化		濃縮-脱水
12	管渠延長 (放流渠を含む)	27.15km	25.87km	25.87km
13	処理施設等 敷地面積	桐生水質浄化センター 48,710 m ² 川内中継ポンプ場 1,110 m ² 新川中継ポンプ場 420 m ²		
14	事業費	348 億円	277 億円	246 億円

(2) 桐生処理区の計画区域

桐生処理区

